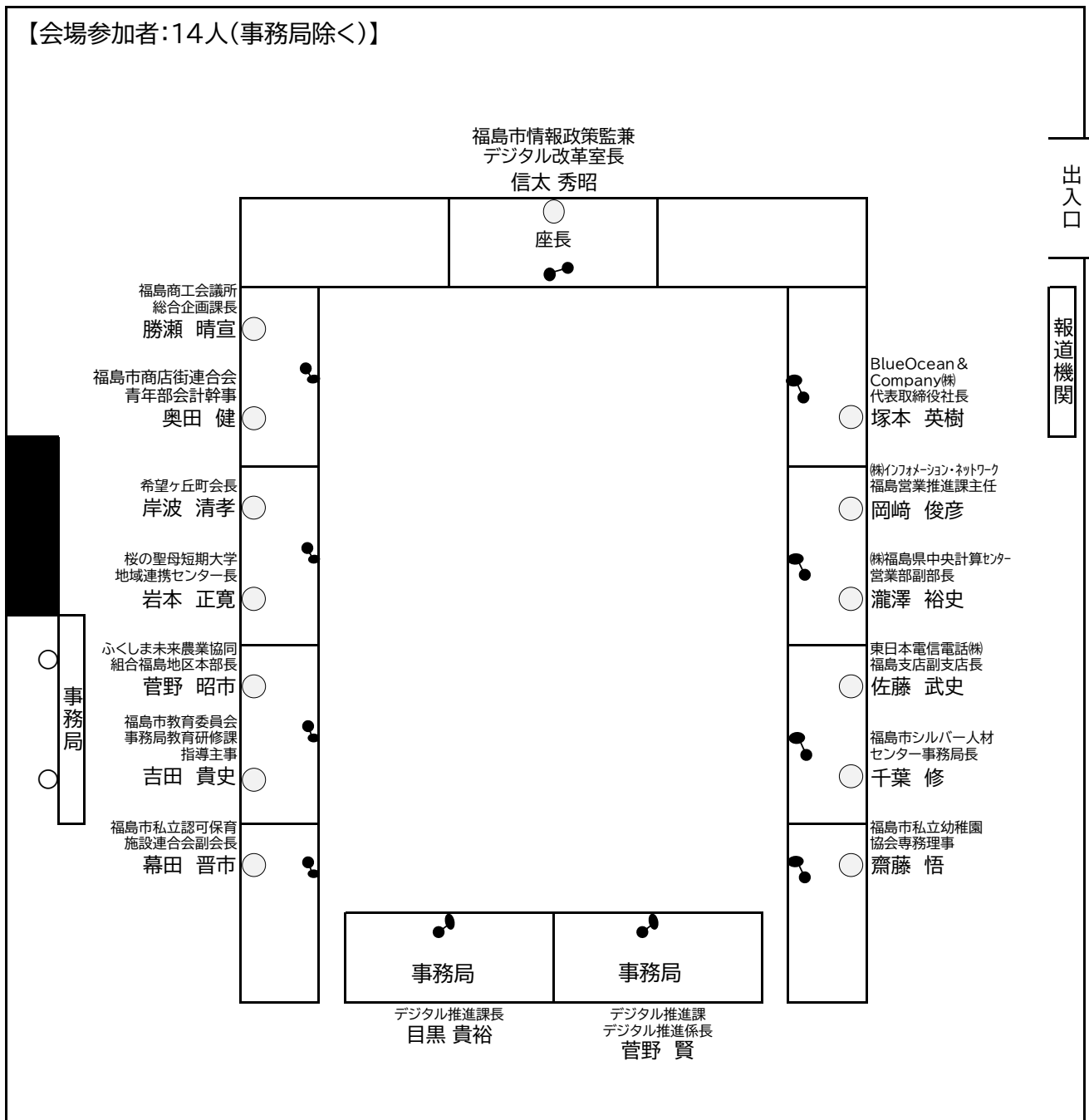


ふくしまデジタル推進協議会

第1回 デジタル推進者会議 席次表

(敬称略)

【会場参加者:14人(事務局除く)】



【オンライン参加者:9人】

福島大学地域未来デザインセンター教授
福島学院大学 情報ビジネス学科長・教授 地域連携センター長
福島市医師会 広報情報委員会委員長
福島県立医科大学附属病院 医療情報部長
福島市地域包括支援センター連絡協議会 副会長
福島交通株式会社福島支社 乗合営業課長
福島市観光コンベンション協会 総務・経理チームリーダー
福島カラー印刷株式会社 アカウントチームサブリーダー
朝日システム㈱イノベーション推進事業本部取締役本部長

(代理) 大越 正弘
木村 信綱
松本 純
井高 貴之
樋口 裕子
八巻 健
木戸 美由紀
國嶋 邦子
高橋 秀雄

地域

経済

デジ
タル

医療

福祉

女性
活躍

高齢者

幼稚園

保育

先進的
取組

観光

行政

学術

農業

交通

デジタル推進者会議

【第1回】

日時：令和4年7月28日（木）午後4時～午後5時30分

場所：福島市役所4階 庁議室兼防災対策室 ※一部ズーム形式

・デジタル推進者会議会員名簿 第1回会議出席者

分野(16分野)	No.	所属・役職	氏名	備考
行政	1	福島市情報政策監兼デジタル改革室長	信太 秀昭	
経済	2	福島商工会議所 総合企画課長	勝瀬 晴宣	
	3	福島市商店街連合会 青年部 会計幹事	奥田 健	
地域	4	希望ヶ丘町会 会長	岸波 清孝	
学術(まちづくり)	5	福島大学 地域未来デザインセンター 副センター長	岩井 秀樹	(代理)大越 正弘教授 オンライン参加
学術 (地域連携)	6	福島学院大学 情報ビジネス学科長・教授・地域連携センター長	木村 信綱	オンライン参加
	7	桜の聖母短期大学 地域連携センター長	岩本 正寛	
医療・福祉	8	福島市医師会 広報情報委員会 委員長	松本 純	オンライン参加
	9	福島県立医科大学附属病院 医療情報部 部長	井高 貴之	オンライン参加
	10	福島市地域包括支援センター連絡協議会 副会長	樋口 裕子	オンライン参加
農業	11	ふくしま未来農業協同組合 福島地区本部長	菅野 昭市	
教育	12	福島市教育委員会事務局 教育研修課 指導主事	吉田 貴史	
保育	13	福島市私立認可保育施設連合会 副会長	幕田 晋市	
幼稚園	14	福島市私立幼稚園協会 専務理事	齋藤 悟	
交通	15	福島交通(株) 乗合営業課長	八巻 健	オンライン参加
観光	16	福島市観光コンベンション協会 総務・経理チームリーダー	木戸 美由紀	オンライン参加
高齢者	17	福島市シルバー人材センター 事務局長	千葉 修	
女性活躍	18	福島カラー印刷(株) アカウントチームサブリーダー	國嶋 邦子	オンライン参加
デジタル	19	NTT東日本福島支店 副支店長	佐藤 武史	
	20	(株)福島県中央計算センター 営業部副部長	瀧澤 裕史	
	21	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 営業推進課主任	岡崎 俊彦	
	22	朝日システム(株) イノベーション推進事業本部取締役本部長	高橋 秀雄	オンライン参加
先進的取組	23	BlueOcean&Company(株) 代表取締役社長	塚本 英樹	

～ 次 第 ～

1 開 会 16:00

2 座長あいさつ

3 会員紹介（※自己紹介形式）

4 議 事

（1）第1回ふくしまデジタル推進協議会の振り返り

（2）推進体制・役割・取組及びスケジュール等の確認

（3）意見交換

※協議会の取組や解決すべき課題等について各自2分程度で発言

（4）推進項目の作成について

5 閉 会 17:30

○市長

- ・急速なデジタル化の中、デジタル化を推進する強い社会的合意形成と地域全体、各分野で強力な推進エンジンをもった連動した取組が必要。
- ・先端と幅広い普及のバランスのとれた、高齢者などにも優しいデジタル都市のモデルを目指していきたい。

○福島商工会議所 渡邊会頭

- ・協議会で各分野が足並みを揃えて取り組んでいける対策を取っていきながら、官民挙げて、世代を超えてデジタル都市を進めていきたい。
- ・DXが生活の向上や安全安心にも繋がるものと実感できるよう取り組んでいきたい。

○福島市商店街連合会 小河会長

- ・ウェブまたは、はがきから応募できるキャンペーンを実施し、その4割がウェブ、6割がはがきであったが、10年後は逆転しているであろう。
- ・小売店のキャッシュレス売り上げは、全体の7割を占め、現金扱いから変わってきていることから、意識改革をしていかなければいけない。

○福島市自治振興協議会連合会 吾妻会長

- ・我々の組織が一番、デジタル化の取組が遅れていると感じており、早急に意識改革をしていかなければならない。
- ・年配の方が多いことから、どうしても取っつきにくい部分があるので、事務局と相談しながら、取組をみんなで検討していきたい。

○福島大学 鈴木地域未来デザインセンター長

- ・様々な分野の方々と、いろんな社会問題や未来型の課題を共有して、横軸の多様な人材を交えてプロジェクトを創り上げ、提案型で取組む。
- ・DXを推進するための一つの技術や発想をプロデュース、企画していくような人材の育成が、大学の一つの使命であると思っている。

○福島学院大学 佐藤特任教授兼理事長・学長参与

- ・今ある情報ビジネス学科をさらに発展させるような形で、福島ならではの学びを実現するような形にしたいと考えている。
- ・協議会で、次の世代を担う子供たち・若者に、デジタルのスキルとモラルをしっかりと身につけさせる支援の枠組みができればと考えている。

○桜の聖母短期大学 岩本地域連携センター長

- ・ 学生が卒業後、地域のデジタル推進者になれるよう意識しながら、教育機関として人材育成を進めていきたい。
- ・ 生涯学習に力を入れている短大のノウハウを地域に還元できるような仕組みを考えていきたい。

○福島市医師会 山田事務局長（代理）

- ・ マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認の導入を推進している。オンライン上で資格確認できることにより、病院の事務負担の軽減と待ち時間も縮減されることから、国の支援制度を活用しながら、さらに加速していくものと考えている。

○福島県立医科大学附属病院 井高医療情報部長

- ・ 今後、医療情報交換の標準規格化の取組が進む中、地域でどう貢献できるかというところを考えていきたい。
- ・ 医療サービスをデジタル化することの恩恵というものをどう感じてもらえるかを協議会で一緒に検討していきたい。

(1) 第1回ふくしまデジタル推進協議会の振り返り

- 7 -

○福島市地域包括支援センター連絡協議会 佐藤会長

- ・必要時にいち早く情報を共有できる「多職種連携情報共有システム」の整備に力を入れていきたい。
- ・デジタル化を安心安全に利用できる環境を整えることで、デジタル化に対する不安などを減らして、信頼性を高める取組が求められている。

○ふくしま未来農業協同組合 数又代表理事組合長

- ・リアルに生育状況を生活市場、バイヤー等々に随時発信をして、可視化ができる仕組みや水田の水管理をスマホでできる取組を始めている。
- ・内部の取組として、ペーパーレス化や電子決裁、農業現場での注文書のOCR化に取り組んでいる。

○福島市教育委員会 古関教育長

- ・児童生徒1人1台のタブレットを活用した「福島型オンライン事業」や市内の6年生約2,000人を対象に市長とオンラインで繋がりトークする「福島っ子未来トーク」に取り組んでいるほか、教員の公務支援のためのシステムを県内でいち早く構築し、効率化が図られる取組を進めている。

○福島市私立認可保育施設連合会 山崎会長

- ・保育計画や記録、登降園等を管理できるシステムをほとんどの園で導入しているが、職員がどう活用していけるかが課題となっている。
- ・デジタル化の土台環境は整っているので、それを職員がいかに活用していけるかということが大切だと考えている。

○福島市私立幼稚園協会 齋藤専務理事（代理）

- ・幼児との直接的な触れ合いを大事にしている中、デジタルをどう活かしていくか、また、教員のデジタル活用が課題となっている。
- ・個人情報を含む書類はメールでやり取りできないが、今後、制度や規制等の見直しで、さらにデジタル化が進むことができればと考える。

○福島交通株式会社 八巻乗合営業課長（代理）

- ・ICカードの導入やV i s aタッチ決済のほか、バスロケーションシステムやA Iを活用した予約システムの実証運用に取り組んでいる。
- ・利用する高齢者が、バスロケーションシステムなどの利便性をなかなか享受できていない実態について、協議会の中で検討、協議していきたい。

○福島県タクシー協会県北支部 大村支部長

- ・オリンピックやコロナ禍の状況から、多くの会社がキャッシュレス決済を導入しているが、地方では後手になってしまっているのが現状である。
- ・他の交通機関等も含めて、一緒に連携を取りながらデジタル化を進めていくということは、大変大きな責任があると考えている。

○福島市観光コンベンション協会 渡邊会長

- ・インターネットの活用という面では、「観光」が一番フィットしている。市場は世界中になるので、そこをどう活かしていくかを考えていきたい。
- ・観光地域づくり法人（DMO）であるコンベンション協会が、温泉旅館等と連携してデータ分析を行い、各観光協会の事業に繋げていきたい。

○福島市シルバー人材センター 川浪理事長

- ・「人の手を借りて仕事をする」特徴があるので、デジタル化への対応は遅れている分野ではないかと思っている。
- ・今まで紙と郵便が伝達手段であったが、新たにメールでの連絡を始めた。また、今秋に「デジタル班」を立ち上げ、デジタル化に対応していく。

○福島カラー印刷株式会社 渡辺代表取締役

- ・テレワーク推進に取組み、多くの女性社員が、収入が大きく下がることなく、活躍できる働き方の仕組みができている状況である。
- ・女性が活躍できるような職場づくりにすることは、人材の確保にも繋がっていると考えている。

○東日本電信電話株式会社福島支店 畠山支店長

- ・デジタル化できているデータを分野を跨いで分析することで、色々な政策決定に活用できるスマートシティーが先にあると考えている。

○株式会社福島県中央計算センター 河原田代表取締役社長

- ・デジタル化は、なかなか取っつきにくいですが、どんどん社会生活に浸透し、当たり前になっていく。今後もRPAなど先進的に進めていきたい。

○株式会社インフォメーション・ネットワーク福島 高橋代表取締役社長

- ・市民の皆さんが身近に触れるデジタル関係の仕事をしておりますので、市民の方々には、このデジタル化の便利さや重要さを広げていきたい。

(1) 第1回ふくしまデジタル推進協議会の振り返り

- 11 -

○朝日システム株式会社 高橋取締役本部長（代理）

- ・ベンダーの働き方や役割も大きく変化して、得意技と行動力を持ったベンチャーが台頭してくる世の中となっている。昨年、イノベーション部門を立ち上げ、地域のDX化の一助になればと考えている。

○株式会社カトウファーム 加藤専務取締役

- ・農業分野は、紙の手続きが変わらず非常に多い。
- ・就農早々から、オンライン販売、HP作成、営農支援ツール「アグリノート」、e-Taxに取り組んできたが、SNSにも力を入れていきたい。
- ・電子お薬手帳や学校からの配布物の電子化が早く進んでほしい。一方で母子手帳はアナログ（紙）で残して欲しい。

○BlueOcean & Company株式会社 奥本代表取締役会長

- ・デジタルの良さは、最終的に、やはりアナログ。人間のよさ、人間のパワーがあって、デジタルが圧倒的に良くなる。
- ・まずは、市民一人ひとりが本当に生きてることを実感して、いかに豊かで、いろんな人たちに支えられているかを、デジタルを通じて実現させようかと考えている。

【推進体制と役割】

◆ふくしまデジタル推進協議会

- 市、団体、企業、大学等16分野の代表者等で構成
- 会員数：25名（R4.7.11現在）
- 会長：福島市長 副会長：福島商工会議所会頭 渡邊博美
- 必要に応じ専門的知識を有するアドバイザーを置くことができる。

【役割】

- ・コロナ後を見据え、専門的な知見等を活かし全体を俯瞰した大所高所の幅広い視点で、デジタル化の方向性等について議論し、地域全体のデジタル化を推進。

◆デジタル推進者会議

- 推進協議会の「実行組織」
- 推進協議会を構成する団体、企業等から選出された「デジタル推進者」で構成
- 会員数：23名（R4.7.11現在）
- 座長：福島市情報政策監兼デジタル改革室長

【役割】

- ①会員間での情報発信・共有等を通じて地域全体・分野毎個別のデジタル化を推進。
- ②先導的なプロジェクトの検討・推進。

(2) 推進体制・役割・取組及びスケジュールの確認

【取組】

◎市、団体、企業、大学等が一体となって、各分野及び地域全体のデジタル化を推進し、これを活用できるようにすることにより、市民一人ひとりが、デジタル化の便利さや豊かさを実感できる社会を実現

(1) 各分野及び地域全体のデジタル化の推進

○協議会を構成する団体・企業等より選出した「デジタル推進者」が中心となり各分野及び地域全体のデジタル化を推進。

①WE B上に会員同士がデジタル化の取組等をオープンに情報発信・共有することができる「場」を設置。

※デジタル庁が国と自治体間の情報共有等で利用しているツール（Slack）などを想定。

②デジタル化を効果的に進めてもらえるよう縦割りになっている国のデジタル関連予算等の情報に県と市も加えた「横串の情報」を会員の皆さんにプッシュ発信。

③団体・企業等分野毎個別に取り組む「推進項目」を作成し、推進。

(2) 先導的なプロジェクトの推進

○市民の暮らしの利便性向上や地域課題の解決を図る先導的なプロジェクトを検討し、推進。

⇒デジタル推進者で構成する「デジタル推進者会議」においてテーマ設定や分科会の設置等も含めて議論し、プロジェクトを具体化。
※スマートシティ構想のようにデータ連携基盤を活用した複数サービスの実装を伴う高度なデジタル化の取組が対象となる「デジタル田園都市国家構想推進交付金タイプⅡ／Ⅲ」も視野に。

その他

○協議会の趣旨に賛同いただける企業、団体等の入会を呼びかけ、官民連携の輪を一層広げながら地域全体のデジタル化を推進する。

○解決したい課題を持つ会員と解決策やノウハウを持つ企業とのマッチングサポート等についても検討する。

(3) 市民への普及啓発

○他のモデルとなる優良事例等を発表するセミナー等の開催

○協議会の活動等を発信する「WE Bサイト」立ち上げ 等
※どちらも今後の検討項目

【今後の主なスケジュール(予定)】

日時	会議名	内容
7月28日	推進者会議 (第1回)	第1回デジタル推進協議会の振り返り、推進体制・役割等の確認、分野毎個別に取り組む「推進項目」の作成依頼、デジタルサポートデスクについて（意見交換）
9月上旬	—	WEB上にデジタル化の取組等をオープンに情報発信・共有することができる「場」の設置（事務局対応）
9月下旬	推進者会議 (第2回)	・分野毎個別に取り組む「推進項目」の確認 ・デジタルサポートデスク（案）の検討
10月中旬～ 11月上旬	推進者会議 (第3回)	プロジェクト案の検討（先進自治体視察調査を含む）
11月下旬	デジタル推進協議会 (第2回)	推進者会議の活動報告、ふくしまデジタル都市宣言
R5. 2月中旬	デジタル推進協議会 (第3回) 推進者会議 (第4回)	R5事業計画案の協議 (協議会と推進者会議を合同開催)

(2) 推進体制・役割・取組及びスケジュールの確認

- 15 -

【先進自治体視察調査候補(※デジタル田園都市国家構想推進交付金 タイプ2/3交付決定自治体)】

No.	候補自治体	タイプ	事業名	採択額(千円)
1	北海道 江別市	タイプ2	生涯健康プラットフォームの実装	199,475
2	北海道 更別村	タイプ3	更別村SUPER VILLAGE構想	502,249
3	福島県 会津若松市	タイプ3	複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ推進事業	553,466
4	茨城県 境町	タイプ2	河岸の街さかいデジタル化推進事業～誰もが住み続けられるまちづくり～	199,523
5	群馬県 前橋市	タイプ3	まえばし暮らしテック推進事業	494,353
6	富山県 朝日町	タイプ3	デジタルを活用した、みんなで創る共助/共創サービスの実現	53,333
7	石川県 能美市	タイプ2	能美スマートインクルーシブシティ構築事業	49,500
8	山梨県	タイプ2	データ利活用基盤整備事業	24,188
9	長野県 茅野市	タイプ2	茅野市デジタル田園健康特区形成事業	199,615
10	岐阜県	タイプ2	サステナブルな地域物流モデル推進事業	75,000
11	静岡県 浜松市	タイプ2	データ活用によるサステナブルな「Well-beingスマートシティ」の共創	90,568
12	静岡県 焼津市	タイプ2	焼津市スマートシティ推進事業	94,970
13	京都府	タイプ2	けいはんなサステナブルスマートシティ	131,980
14	大阪府 豊能町	タイプ2	コンパクトスマートシティパーク	197,881
15	兵庫県 加古川市	タイプ2	“安全・安心”から地域をつなぎ育む、未来のスマートコミュニティ事業	199,966
16	兵庫県 養父市	タイプ2	養父市デジタルヘルシーエイジング事業	98,579
17	鳥取県	タイプ2	とっとり「人づくりDX」構想	153,307
18	岡山県 西粟倉村	タイプ2	新たな森林サービス産業「モリリズム」を支えるデジタル連携基盤の構築による「生きるを楽しむ」に必要なビレッジプライドの醸成	44,100
19	岡山県 吉備中央町	タイプ3	誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生	257,796
20	広島県	タイプ2	データ連携基盤(Dobox)を核とした新たなサービスの提供	113,000
21	香川県 高松市	タイプ3	フリーアドレスシティたかまつ(FACT)	365,600
22	香川県 三豊市	タイプ2	三豊ベーシックインフラ整備事業	102,900
23	愛媛県	タイプ2	多極分散を志向した強靱なデジタルまちづくり	200,000
24	宮崎県 延岡市	タイプ2	データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”サービス	164,985

(3) 意見交換

- ・協議会の取組や解決すべき課題等について2分程度でご発言願います。

(4) 推進項目の作成について（依頼）

- ・団体、企業、大学等それぞれの組織ごとに、解決したい課題や重点的に取り組みたいこと、連携して取り組みたいこと、サポートして欲しいことなどについて記入願います。

※8月29日(月)までに提出願います。

【推進項目】 企業・団体名（ ）

- 17 -

-
-
-
-
-

※箇条書きで構いませんので、ご自由にご記入ください。